

# 防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会  
会報 第8号 (2007・10)  
事務局川西地区自主防災会

## 今月号は事務局を担当しています川西地区の取り組みを紹介

昨年の『防災対策基本条例』に引き続き、今春、香川県防災局が『避難所の運営指針』を策定された機会に、私達の自主防災会も

避難所設営訓練の徹底

避難所生活用品の整備

この2点を新たに加えて、取り組んできました。

### 1. 避難所設営訓練

この訓練は、小学校、中学校、高等学校との防災研修、更には香川県の総合防災訓練、綾川町総合防災訓練、また高松太田南地区地震対策訓練にも参加して、実戦さながらの設営訓練を行いました。これに使用する資機材は軽トラック約10台分、資機材の搬送に相当の労力を費やしました。

綾川町での設営模様

県防災訓練での設営模様

高校での訓練時の機材搬送模様



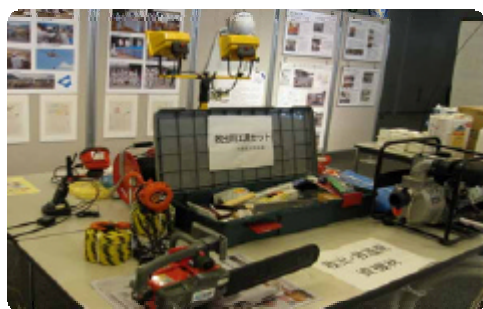
### 2. 避難所生活用品の整備

- (1) 従来から取り組んできた「給電関係」は、  
発動発電機6台(2年後10台の予定)、照明機器スタンドタイプ5台  
床面タイプ10台、一般投光器5台、燃料タンク3台、接続用電工ドラ  
ム10個、接続用コード15A用1  
0本、スイッチ付タップ4個口5本
- (2) 避難所生活の基本的配備品については、毛布100枚、アルミレジャー  
マット60枚、座布団100枚、プ  
ルーシート50枚
- (3) 避難所の生活環境の改善として「リ  
ビングタイプ扇風機10台」、「コ  
ロナ製石油ストーブ5台」、「うちわ2  
00本」更に簡易トイレ50個と保  
護カバー2個



救出工具セット & 生活用品展示の様様

簡易トイレ



## かがわ国際フェスタでの資機材展示&防災クイズ模様(10月28日)



- (4) 給食活動のベースとなる整備として「平口鍋5個」「大型かまどガスタイプ2台」「大型かまどまきタイプ4台」「まき500kg」  
\*全部使用すると「おにぎり1,300個」また汁等500杯調達可能。  
また、食器類として「どんぶり」「小鉢」「お皿」「スプーン」「割りばし」200人3日分。更に包丁、まな板各10個調達。水関係では500Lタンク\*1, 45Lタンク\*2, 20Lタンク\*20
- (5) 避難所救急品として、救急箱10個、アイマスク50人分、耳栓50人分、また要援護者用として大人おしめ200枚、子供用も200枚等
- (6) 避難所消耗品としては、「ティッシュペーパー200箱」「トイレトペーパー400ロール」「キッチンペーパー100ロール」「携帯用ティッシュペーパー2000個」「タオル200本」
- (7) 備蓄食品としては、「ミネラルウォーター2Lサイズ500本」「カンパン700缶」「米100kg」
- (8) 資機材搬送用として「キャリーカート30kg用6台」と「メッシュ型台車50kg用3台」

## 県防災訓練での資機材展示の模様



以上、避難所関係の整備状況をご報告申し上げました。1円でも安くをモットーに、商品の棚卸時期など購入のタイミングに留意しながら3~4店のホームセンターをサーベイし、何時も手帳片手にメモをとりながらの購入・整備です。また、川西地区保有の資機材は、「かがわ自主ぼう連絡協議会」会員の皆様にはイザという時、ご使用していただきたいと思っております。

## 2 . わが街の紹介

## 三木町

### 獅鼓舞



### 氷上大獅子



### 三木町ホームページ

<http://www.town.miki.lg.jp/index.html>

三木町は東西 5.8 km、南北 18.4 km の細長い地形をした高松市に隣接するまちです。香川大学医学部と農学部のほか、三木高校があることから「文教のまち」としても広く知られています。

又、9 月下旬に行われる「獅子舞フェスタ」では、その勇壮な獅子が一堂に会し、中でも 3 体の大獅子は、頭だけで 1.5 m を超え、40～50 人で担ぐ姿は壮観です。

防災につきましては、本町でも今後 30 年以内に発生する可能性が 50% とされている「南海地震」に備えるため、三木町地域防災計画等を作成・公表しております。

町民に対しては、単位集落での自主防災組織の結成を促進しているところであり、現在の結成率は 77% となっています。組織の取組みについては、歩み出したばかりのところが大半ではありますが、独自の訓練や取組みをされているところも出てきており、今後の活躍に期待しているところでもあります。

又、本年度からの取組みとして、防災に関する基礎的知識・技能を有する民間の人材を育成するため、意欲のある住民を対象に防災に関わる各専門分野の講師による「地域防災リーダー育成セミナー」を開催することとしております。

さらに来年 3 月には、住民参加型の総合防災訓練を実施する予定としており、今回から、本町と「災害時における医療救護活動に関する協定」を締結している、社団法人 木田郡医師会にも参加して頂き、災害発生直後の医療救護活動も取り入れ、より実践的な訓練を行うこととしております。

防災関係情報の提供と致しましては、今年 5 月には、町内全戸に防災ガイドブックを配付し、又、三木町内を流れる最大河川である新川が決壊した場合の浸水範囲等を図示し、平成 16 年台風 23 号襲来時の浸水区域を重ね、その上に土砂災害危険箇所や、各地区の避難所等を表示した「三木町洪水ハザードマップ」を公共施設及び地域の集会所等に掲示いただいております。

又、町構築システムの防災メール、三木町が販売する独自の防災ラジオにより、防災行政無線の他にも、情報をキャッチできる方策をとっております。

このような取組みを行いながら、今後、より地域の防災力を総合的に高めるには、何が不足し、何をどのように変えるべきか、「気付き」「出会い」「リスクの洗い出しと可視化・共有化」できる環境作りを目標に、地元自主防災組織と連携しながら活動したいと考えております。

事務局連絡先：〒763-0092 丸亀市川西町南428 川西コミュニティセンター内

かがわ自主ぼう連絡協議会事務局 川西地区自主防災会 0877-28-5519 josin-c@mail.netwave.or.jp